各　位

2013年8月7日
株式会社オートバックスセブン
代表取締役　社長執行役員　湧田　節夫
（コード番号：9832　東証第一部）
問い合わせ先:IR・広報部長　椎野　泰成（TEL 03-6219-8718）

2014年3月期　7月度 月次売上概況（速報）についてのお知らせ

土日祝日日数	前年比（日）	−1	−1	±0	+1	−1	+1	±0	±0	+1	−1	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0
国内売上高（全業態）		12年7月	13年4月	13年5月	13年6月	13年7月	13年8月	13年9月	13年10月	13年11月	13年12月	14年1月	14年2月	14年3月	**今期累計**	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
全店	額（百万円）	25,184	23,021	20,280	20,368	23,020									**86,689**	63,669					
	前年比（%）	−9.4	−10.0	−4.6	−6.3	−8.6									**−7.6**	−7.2					
既存店	前年比（%）	−12.1	−12.2	−6.9	−8.2	−10.4									**−9.6**	−9.3					
国内客数（全業態）		12年7月	13年4月	13年5月	13年6月	13年7月	13年8月	13年9月	13年10月	13年11月	13年12月	14年1月	14年2月	14年3月	**今期累計**	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
全店	人数（千人）	3,445	3,425	3,230	3,016	3,354									**13,026**	9,672					
	前年比（%）	1.6	−6.5	−3.1	−1.1	−2.7									**−3.4**	−3.7					
既存店	前年比（%）	−1.8	−9.1	−5.8	−3.4	−4.9									**−5.9**	−6.3					
客単価（全業態）		12年7月	13年4月	13年5月	13年6月	13年7月	13年8月	13年9月	13年10月	13年11月	13年12月	14年1月	14年2月	14年3月	**今期累計**	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
既存店	前年比（%）	−10.5	−3.4	−1.2	−5.0	−5.9									**−4.0**	−3.3					

国内　商品別売上高 既存店前年比（%）	12年7月	13年4月	13年5月	13年6月	13年7月	13年8月	13年9月	13年10月	13年11月	13年12月	14年1月	14年2月	14年3月	**今期累計**	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
カー用品（車検含む）	−13.3	−14.1	−8.8	−9.3	−11.7									**−11.1**	−10.9					
サービス	−6.7	−4.3	−1.7	−0.2	−2.5									**−2.3**	−2.2					
車検・整備	3.9	7.0	2.0	6.0	4.1									**4.7**	4.9					
タイヤ	4.1	−14.5	−9.0	−4.6	−10.6									**−10.2**	−10.1					
ホイール	7.1	−18.5	−11.8	−12.3	−16.0									**−15.3**	−15.1					
カーエレクトロニクス	−36.9	−29.2	−20.0	−27.3	−26.2									**−26.0**	−26.0					
オイル	−6.5	−4.3	−4.1	−1.1	−0.8									**−2.6**	−3.2					
バッテリー	−10.1	−6.9	−3.5	0.4	−3.0									**−3.3**	−3.5					
メンテナンス	−4.4	−12.9	−10.4	−6.0	−11.1									**−10.3**	−10.0					
アクセサリー	2.9	−11.1	−4.5	−4.5	−7.8									**−7.2**	−6.9					
カーリペア	0.8	−7.9	−4.8	−0.1	−4.0									**−4.5**	−4.6					
カースポーツ	0.6	−9.2	−11.8	−10.3	−11.1									**−10.6**	−10.4					
カーレジャー	−20.6	−13.9	−17.0	−8.2	−13.8									**−13.4**	−13.2					
モーターサイクル	−15.5	−9.6	−2.5	17.5	−1.0									**0.8**	1.4					
新車・中古車	9.3	23.4	22.0	3.9	5.2									**12.5**	15.5					
中古カー用品	−15.5	−26.2	−22.5	−21.5	−23.6									**−23.6**	−23.6					
燃料	−1.5	30.3	14.3	19.2	14.8									**19.1**	20.9					

国内業態別店舗売上高　前年比（主要2業態、既存店）

オートバックス	前年比（%）	−13.0	−14.5	−8.5	−8.9	−11.8									**−11.1**	−10.9					
スーパーオートバックス	前年比（%）	−14.1	−13.2	−9.3	−10.3	−11.3									**−11.1**	−11.1					

海外店舗売上高 前年比（全店）（%）	−5.4	−4.4	−4.2	−7.7	−6.6									**−5.8**	−5.5					

店舗数	ｵｰﾄﾊﾞｯｸｽ	**+2**	**+1**	**+2**	**+3**									**463**	**+5**					
	ｽｰﾊﾟｰｵｰﾄﾊﾞｯｸｽ													**76**						
	ｵｰﾄﾊﾞｯｸｽ ｾｺﾊﾝ市場		**−1**											**13**	**−1**					
	ｵｰﾄﾊﾞｯｸｽ ｴｸｽﾌﾟﾚｽ		**−1**											**6**	**−1**					

2013年7月度　（特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値）

【概況】前年同月比売上は既存店ベースで▲10.4%、全店ベースで▲8.6%。売上増減要素：①土日祝日数、前年比で1日減、②引き続き数量と単価下落により、カーナビゲーションの売上が減少。③タイヤは低燃費タイヤが好調だったものの、④前年の新車販売好調に伴う関連需要増の反動により、アクセサリー・カースポーツなどの売上が減少。

【商品別】タイヤ・ホイール：タイヤは販促を強化した低価格帯PBタイヤが数量・金額ともに伸長。また低燃費タイヤも引き続き好調だったが、全体では数量・金額ともに前年割れとなる。ホイールは高価格帯商品の売上ダウンが著しく、前年割れ。

カーエレクトロニクス：ナビゲーションの数量および単価下落が依然として続いており前年割れ。**オイル：**販売促進を強化した低価格帯商品が好調だったことに加え、タイヤとの連帯販売を強化した結果、数量ベースで前年実績をクリアした。

バッテリー：引き続き高性能バッテリーが好調に推移したことにより、商品単価は伸長したが、全体では数量・金額ともに前年割れ。

アクセサリー：新車販売の好調により、前年は需要が伸びた車内アクセサリー、インテリア関連商品が反動で低調。ただし芳香剤では販売促進を強化したエアコン吹き出し口取付タイプの商品が好調に推移し、数量ベースで前年実績をクリア。

カーリペア：全体では前年割れだが、手軽なタイプのコート剤、清掃用品は引き続き好調。**カースポーツ：**引き続き前年の新車販売好調の反動は見られるが、店頭イベント実施店舗を中心にスポーツシート、マフラー等の高額商品の売上が回復。

サービス：ナビゲーション取付工賃が引き続き低調だったことにより、サービス全体の売上は下落したが、ボディコーティング、車内消臭などのサービスメニューの需要は拡大。車検・整備は数量・金額とも堅調に推移（全店ベースで台数前年比+2.5%、金額前年比＋5.3%）。

車販売：前年のエコカー補助金効果の反動もあり新車販売の低調は続いているが、中古車販売が好調で小売全体は伸長。また査定件数、成約件数とも引き続き伸長し業販も好調。全店ベースでは台数前年比＋7.4%、金額前年比＋5.0%。

出店、退店状況　7月度　国内：新店3、リロケーション/スクラップ＆ビルド（業態変更含む）による開店0、退店0、海外：新店0、退店0
7月末　国内店舗数：　558店舗（オートバックス463、スーパーオートバックス 76、オートバックスセコハン市場 13、オートバックスエクスプレス 6）

・こちらのデータはフランチャイズ加盟法人の運営する店舗を含むオートバックスグループの小売売上であり、当社連結および単独の売上高とは異なり、会計監査人による監査は受けておりません。
・最新データにつきましては、速報値となっています。尚、過去に遡って調整が入る場合もございます。
・「全業態」は、スーパーオートバックス、オートバックス、オートバックスカーズ、オートバックスセコハン市場、オートバックスエクスプレスです。
・「カー用品」には、セコハン市場やオートバックスエクスプレスで一部販売している新品のカー用品も含まれています。

E-mail ： investors@autobacs.com

2013年4月度　　（特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値）
【概況】前年同月比売上は既存店ベースで▲12.2%、全店ベースで▲10.0%。売上増減要素：①土日祝日数、前年比で1日減、②地域的な気温の低下や前年の新車販売好調に伴うカー用品の需要増の反動が全体的に影響、
③前月のタイヤ・ホイール履き替えの前倒しによる反動、④引き続き単価下落により、カーナビゲーションの売上が減少。
【商品別】タイヤ・ホイール：新聞広告等の全国販促を実施したが、3月度に冬タイヤから夏タイヤへの履き替えが進んだ反動や天候不順などにより、数量・金額とも大幅に落ち込む（ホイールも同様）。
カーエレクトロニクス：昨年の新車販売好調に伴う需要増の反動と単価下落による前年割れが継続。**オイル**：キャンペーンを実施したことにより、他商品群と比べ堅調。
バッテリー： 全体の数量が伸び悩むが、高性能バッテリーは好調に推移。**アクセサリー**：昨年の新車販売好調により伸長したインテリア・レーダー探知機・車内用品等の前年割れが続く。**カーリペア**：洗車用品全体が伸び悩むなか、コート剤が好調に推移。
サービス：ナビゲーション取付工賃、タイヤ・ホイール交換工賃が低調であったが、車検・整備、板金は引き続き堅調（全店ベースで台数前年比＋7.8%、金額前年比＋8.4%）。
車販売：新車販売、中古車販売ともに好調。また買取査定新システム導入により、査定件数、成約件数ともに増加し業販も伸長。全店ベースでは台数前年比＋18.7%、金額は前年比＋22.9%。

2013年5月度　　（特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値）
【概況】前年同月比売上は既存店ベースで▲6.9%、全店ベースで▲4.6%。売上増減要素：①4月度に引き続いてタイヤ・ホイール売上が伸び悩み、②単価下落により、カーナビゲーションの売上が減少し、③前年の新車販売好調に伴う関連需要増の反動により、カー用品全般の売上が減少。
【商品別】**タイヤ・ホイール**：前半は販促効果もあり好調に推移したが、中旬以降は数量・金額ともに伸び悩み前年割れとなる。低燃費タイヤの需要が伸びる一方で、低価格帯商品が不調だった。ホイールは軽自動車向けが伸びたが大口径サイズが落ち込む。単価下落も進み大きく前年割れとなる。
カーエレクトロニクス：据え置き型ナビについては、単価下落による前年割れが続いている。PNDに関しても単価下落は継続しているが、新製品の売上が好調だったことにより、数量ベースで14カ月ぶりに前年を上回った。
オイル：前月に引き続きキャンペーンを実施。前半は売上を伸ばしたが後半に向けて失速し、前年割れとなる。**バッテリー**： 高性能バッテリーが好調に推移しており、前年比のマイナス幅が縮小。
アクセサリー：昨年の新車販売増で需要が伸びた車内用品を中心に前年割れとなる。一方、スマホ関連商品や日除け類は好調。**カーリペア**：洗車関連が引き続き不調だったことにより前年割れ。一方、手軽なタイプのコート剤が好調。
サービス：引き続きナビゲーション取付工賃、タイヤ・ホイール交換工賃が低調だったが、ボディーコーティングなどの需要が拡大している。 車検・整備は数量ベースでは若干の前年割れだったが、金額ベースでは堅調（全店ベースで台数前年比▲0.5%、金額前年比＋3.5%）。
車販売：昨年のエコカー補助金の影響で新車販売は前年割れ、中古車販売が好調で小売全体をカバー。また前月に引き続き査定件数、成約件数ともに大幅に増加し業販も伸長。全店ベースでは台数前年比＋18.6%、金額前年比＋22.1%。

2013年6月度　　（特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値）
【概況】前年同月比売上は既存店ベースで▲8.2%、全店ベースで▲6.3%。売上増減要素：①引き続き単価下落により、カーナビゲーションの売上が減少し、②前年の新車販売好調に伴う関連需要増の反動により、スポーツ・アクセサリーなどの売上が減少。③タイヤは低燃費タイヤの好調や、
北海道における冬タイヤからの履き替え需要により、前年実績に対するマイナス幅が前月から縮小。
【商品別】タイヤ・ホイール：タイヤは低価格帯商品の不振が継続し前年割れだったが、 売れ筋商品である低燃費タイヤのキャンペーンを全店で実施したこと、また北海道エリアでは遅れていた冬タイヤから夏タイヤへの履き替えが発生したことなどにより、数量・金額ともに回復傾向。
ホイールは販促効果などもあり低価格帯商品が伸びたが、高価格帯商品が落ち込み前年割れ。**カーエレクトロニクス**：ナビゲーションの単価下落が依然として続いており前年割れ。
オイル：販売促進を強化した低価格帯商品が好調だったことに加え、タイヤとの連帯販売を強化した結果、金額ベースで前年実績に対するマイナス幅が縮小。**バッテリー**： 高性能バッテリーが好調に推移し、数量・金額ともに前年実績クリア。
メンテナンス：前年は新車販売好調により伸長したインバーター、安全用品などの商品が不調だったが、前年割れが続いていたワイパーが降水量の増加とともに回復。
アクセサリー：前年の新車販売の好調により需要が伸びたレーダー探知機、インテリア関連商品などが前年割れ。一方、引き続きスマートフォン関連商品や日除け類は好調。**カーリペア**：全体では前年割れだが、手軽なタイプのコート剤、清掃用品は引き続き好調。
サービス：ナビゲーション取付工賃は引き続き低調だが、一部エリアでの履き替え需要などにより、タイヤ・ホイール交換工賃は件数・金額ともに前年比でプラス。また引き続きボディーコーティングなどの需要が拡大。車検・整備は数量・金額とも増加（全店ベースで台数前年比+5.8%、金額前年比＋7.3%）。
車販売：前年のエコカー補助金効果の反動もあり新車販売は低調。一方で前月同様に中古車販売が好調で小売全体は伸長。また査定件数、成約件数とも引き続き伸長し、業販も好調。全店ベースでは台数前年比＋5.5%、金額前年比＋3.3%。